

THINKCAR



THINKCAR Dual System A/C Maintenance Centre AC 200

導入／操作マニュアル

注意事項:

＊ご使用前によくお読みになり、今後の参考のために保管してください。機器リストは、Thinkcar Tech Inc. を参照ください。製品の継続的なアップグレードのため、マニュアルと製品に若干の違いが生じますが、製品の現物を優先してください。尚、すべての権利はThinkcar Tech Inc.に帰属します。本マニュアルは、Thinkcar Tech Inc（以下「Thinkcar」という）の書面による同意なしに、いかなる企業または個人によっても、いかなる形式（電子的、機械的、複写、記録、その他）でも複製することはできません。本マニュアルは、Thinkcar 製品を使用するために作成されたものであり、他の機器の操作ガイドとして使用した結果について、Thinkcar は一切の責任を負わないものとします。Thinkcar およびその関連会社は、事故、機器の乱用や誤用、機器の無許可の改造や修理、Thinkcar の操作およびメンテナンス要件に従わなかったことによる機器の損傷や紛失の結果発生したいかなる費用や経費について、ユーザーまたは第三者の如何を問わず、一切の責任を負わないものとします。 Thinkcarは、Thinkcarの純正品またはThinkcarが承認した製品以外のオプションの付属品や消耗品を使用したことに起因する損害や問題について、一切の責任を負いません。

公式免責事項: 本マニュアルに記載されている各社の製品名は、機器の使用方法を説明するためのものであり、各社の登録商標です。

登録商標

Thinkcar は、中国およびその他の数カ国において「THINKCAR」の商標登録をしています。本パンフレットに記載されているその他すべての Thinkcar の商標、サービスマーク、ドメイン名、アイコン、および会社名は、Thinkcar およびその子会社に帰属します。Thinkcar の商標、サービスマーク、ドメイン名、アイコン、会社名が登録されていない国において、Thinkcar は未登録の商標、サービスマーク、ドメイン名、アイコン、会社名の所有権を否認します。本マニュアルに記載されている他の製品および会社名の商標は、元の登録会社に帰属します。Thinkcar Inc.の商標、サービスマーク、ドメイン名、アイコン、会社名、またはその他の記載された会社名を、所有者の事前の書面による同意なしに使用することはできません。

Thinkcar のウェブサイト www.thinkcar.com、または書面にてご連絡ください: 深セン本社: 2606 #4 block,Tian'an Cloud Park Bantian, Longgang District, Shenzhen, China マニュアルの書面による使用許可については、Thinkcar にお問い合わせください。

目次

安全性	エラー! ブックマークが定義されていません。
Chapter I 導入編.....	5
1.1 概要.....	5
1.2 特徴.....	5
1.3 仕様.....	6
Chapter II 機能編.....	7
2.1 主な機能.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2.2 補足機能.....	7
Chapter III 操作編.....	8
3.1 各パーツの説明.....	8
3.2 初めに	9
3.3 実行前の準備 フラッシング機能.....	11
3.4 電源オン.....	11
3.5 フラッシング/リカバリー	13
3.6 リカバリー/リサイクル	14
3.7 清掃.....	14
3.8 新しいオイルの追加.....	14
3.9 再充電	16
3.10 オートモード	16
3.11 データベース.....	17
3.12 機器のメンテナンス.....	17
3.12.1 ドライフィルターの交換	17
3.12.2 本体パイプの清掃	18
3.12.3 ロードセルの校正	18
3.12.4 使用済みオイルの排出.....	18
3.12.5 内部の冷媒を空にする	18

3.12.6 真空システム・パイプライン	19
3.12.7 真空ポンプオイルの交換	19
3.13 供給タンク	21
3.14 システム機能	22
3.14.1 言語.....	22
3.14.2 単位.....	23
3.15. 装備情報.....	23
3.15.1 システム照会	23
3.15.2 提供者情報.....	23
3.15.3 装備情報	23
3.16 ヘルプ	24



安全性

- 1.本製品は熟練した作業者によってだけ使用 / 修理されるように設計されています。
- 2.本製品は R134a および R1234yf の冷却剤の為に使用されるように設計されています。他の冷却剤のタイプは適当ではありませんので異なったタイプの冷却剤は混合することができません。もし、異なった冷却材を混合した場合は、装置の故障を引き起こすか、または冷暖房システムの損傷を引き起こす可能性があります。
- 3.推奨の冷却剤の量で A/C を満たします。
- 4.リスクを避けるため、冷却ファン、オルタネーター、暖房部品などの可動部品や回転体から遠ざけてください。
- 5.保護服、手袋、ゴーグルを着用してください。

6.自動車用エアコン配管洗浄のため、作業者は自動車のエアコンシステムと製品の操作に十分精通している必要があります。エンジンを切るときは、必ずイグニッションキーが完全に OFF の位置になっていることを確認してください。

7.本製品を直射日光や雨にさらさないでください。換気の良い作業場でのみ使用してください。

8.輸送中に 30 度以上の傾きは厳禁です。

9.本製品の高圧電源部には触れないでください。

10.取扱説明書の内容は、お客様への予告なしに変更されることがあります。

Chapter 1 導入編

1.1 概要

THINKCAR AC200 シリーズ デュアルシステムは、最高の制御原理と製造プロセスを駆使した最新の設計技術です。この装置は A/C の洗い流すこと、回復、リサイクル、再充電および他の機能を一つに集約した理性的な装置です。R134a、R1234yf 冷媒に対応します。

1.2 特徴

A、R134a および R1234yf 冷媒に対応

B、全自動で操作が簡単

C、A/C システムフラッシングの内部パイプラインは、効果的に内部の油や汚れを綺麗にし、A/C システムの性能を回復させます。

D、前方フラッシング、逆フラッシング、パルスフラッシング機能があり、洗浄効果を大幅に向上させます。

E、LED バックライト付き大型ガラス管を使用し、効果的に全体の洗浄プロセスを観察することができます。

F、垂直に HP と LP ゲージを設置し、作業員は車の中でもタイムリーに圧力パラメータを観察することができます。

G、パイプラインのユニークなデザインは、ガスや液体に関係なく、高いリサイクル率を達成することができます。

H、簡潔なインタフェースで操作が簡単です。

I、大型 LCD の設計。

J、データベースも装備。

K、プログラムとデータベースの更新ができます。

L、プリンターも装備

M、装置の自己洗浄機能は、装置に貯蔵された冷媒が再利用のレベルになることを保証できます。

1.3 仕様

A、使用条件：周囲温度：0~50° C 相対湿度：<85%

B、電圧入力：AC220V±10%~50/60Hz □AC110V±10%~60Hz （ラベル参照）

C、コンプレッサー：16cm³

D、真空ポンプ：42L/MIN、5Pa

E、タンク用ロードセル：30kg/±10g、2個

F、オイルボトル用ロードセル：6kg/±10ml

G、タンク：12L、2個

H、PAG オイルボトル：300ml

I、POE オイルボトル：300ml

J、使用済みオイルボトル：500ml

K、LCD ディスプレイ：240mm * 128mm

L、作業圧力：最大。20bar

M、HP ゲージ：-1bar~35bar

N、LP ゲージ：-1bar~20bar

- O、最大作業圧力：20bar
- P、バックライト：LED
- Q、言語：中国語と英語（日本語は対応していません）

Chapter II 機能編

2.1 主な機能

- A、デュアル冷媒システム
- B、デュアル冷媒オイルタイプのサポート
- C、自動フラッシング
- D、自動回収/リサイクル
- E、自動/手動使用済みオイルドレン
- F、真空タイミング
- G、自動/手動新油注入
- H、定量充電
- I、独立した各機能の動作
- J、オートモード
- K、データベース
- L、印刷

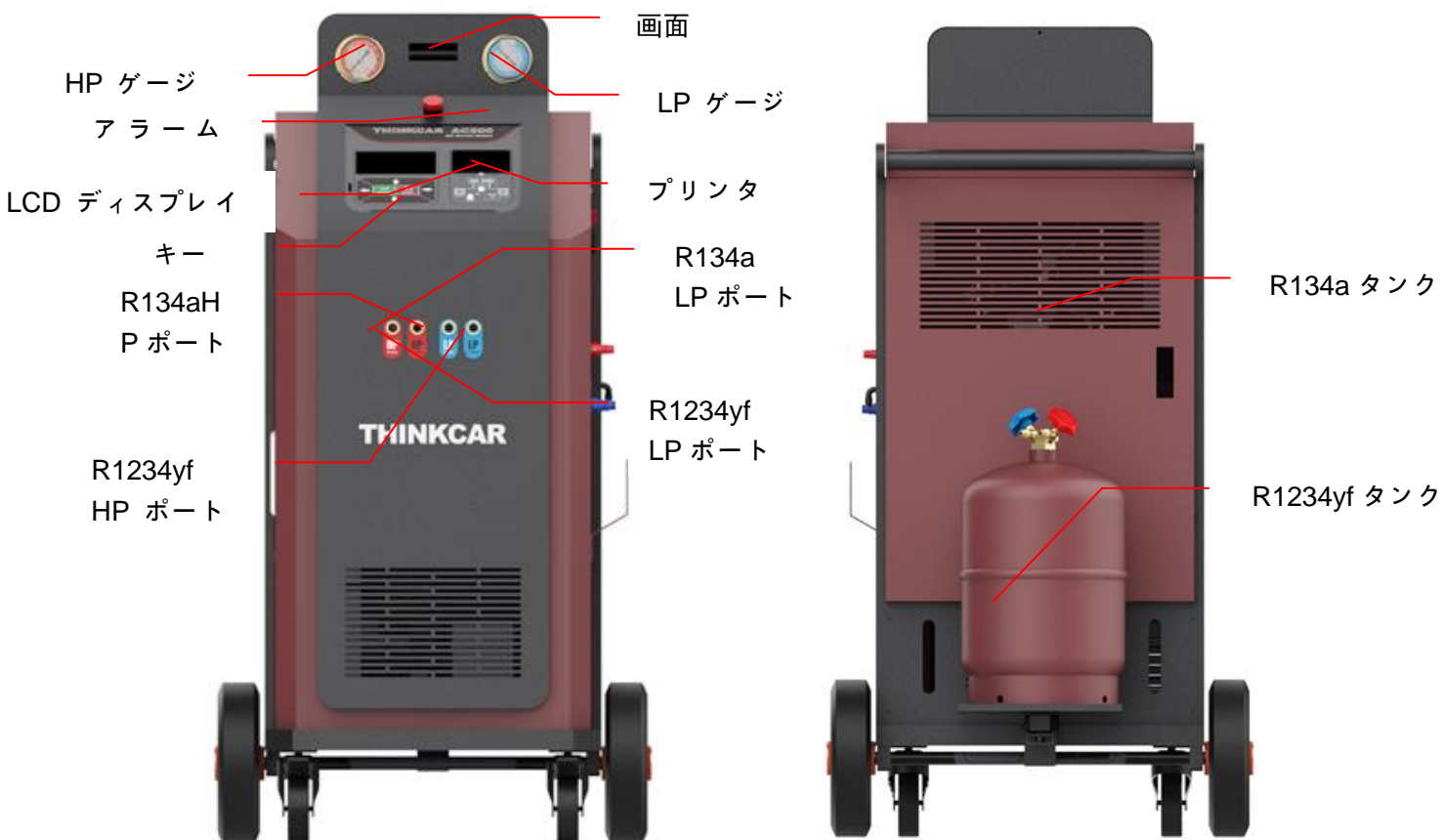
2.2 補完機能

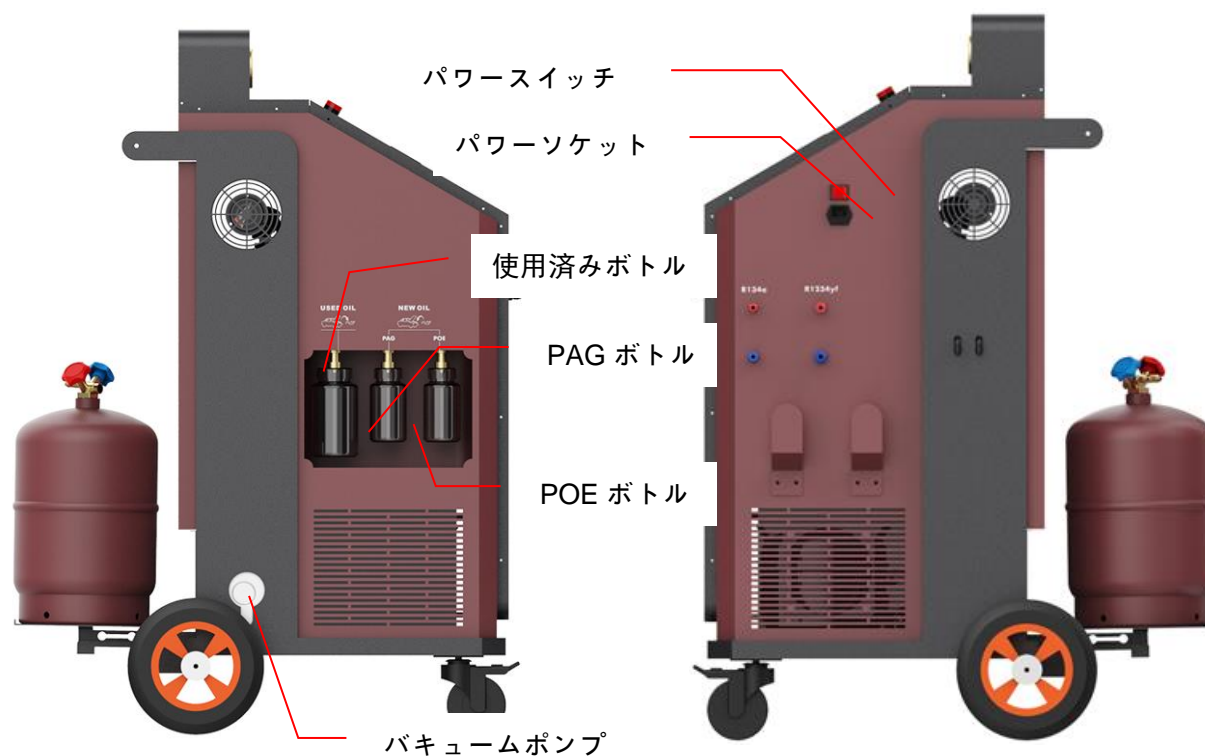
- A、パラメータの設定
- B、冷媒補充
- C、パイプラインのセルフクリーニング
- D、装置空運転

- E、装置真空
- F、電子スケール校正
- G、機械メンテナンス（ドライフィルター交換機）
- H、プリンターテスト
- I、装置状態照会
- J、装置情報照会
- K、ヘルプ

Chapter III 操作編

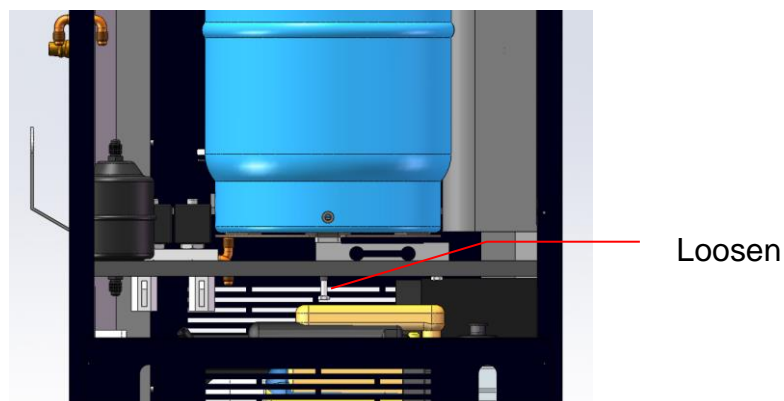
3.1 各パーツの説明





3.2 初めに

- A、輸送中の電子スケールの損傷を避けるため、出荷時には電子スケールを保護しています。バックドアを開け、タンクの両側とはかり皿の下にある充填物をすべて取り出し、はかり皿の下にある支持ネジを緩めて、はかりを吊り下げ状態にします。下図のようになります



- B、電源を接続し、電源を入れます。次のように操作してください。
C、言語を設定してください：1つを選択し、ENTER を押してください。

LANGUAGE:
ENGLISH
 繁體中文
 简体中文

- D、単位を設定：1つを選択し、ENTER を押します

Units:

kg/g

lbs

E、R1234yf 貯蔵タンクをマシンの背面に取り付けます。

First use of the machine

Please install the rear tank
and connect the pipes.

【NEXT】

- a) 蓄積タンクをリアスケールの上に置き、固定します。
- b) 赤と青のパイプをタンクの赤と青のバルブインターフェイスに接続して締め付け（少量のストップグルーを塗布することを推奨します）、2つのバルブを開きます。

F、ホースとカプラーを接続します

First use of the machine

Connect the HP and the LP
with a pipeline and quick
connetor.

【NEXT】

- a) 2本のREDホースをHPポートに接続します。
- b) 2本の青いホースをLPポートに接続します。
- c) R134aの赤と青のカプラーをそれぞれR134aの赤と青のパイプに接続します。
- d) R1234yfの赤と青のカプラーをそれぞれR1234yfの赤と青のパイプに接続します。

G、初期設定

First use of the machine

Vacuum the system pipes now.
After vacuum, the next step
will be done automatically.

H、新しい機器に冷媒を供給します（「供給機能」の項を参照）。

Initialization completed

Please run the supply
function.

Note:

- (1) 新しい装置は空であるため、フラッシングとリチャージの機能は実行されません。
- (2) 全ての機能を正常に作動させるためには、R134a と R1234yf の冷媒を約 4kg ずつタンクに充填する必要があります。フラッシング機能を使用する必要がない場合は、少なくとも 2kg を補充してください。

I、運転前にこの取扱説明書をよくお読みください。

3.3 実行前の準備（フラッシング機能）

- A、カーエアコンの冷媒の種類を確認し、正しいカプラーを A/C サービスポートに接続し、カプラーオンにします。
- B、車を始動し、A/C を約 5 分間作動させます。
- C、A/C の高低圧が正常かどうか、コンプレッサー作動時に異音がないかを確認します。
- D、エアコンを切り、エンジンを切ります。
- E、使用済みオイルボトルを空にし、新しいオイルボトルに新しいオイルを適量入れます。
（注：PAG、Poe タイプ）
- F、電源を入れて作業の準備をします。

警告：本製品の運転中は、絶対に A/C システムを作動させないでください

3.4 電源 ON

A、本製品が異常な情報を検出した場合、プロンプトが表示され、時間内に処理する必要があります。プロンプトメッセージが無ければ、次のインターフェイスに直接行きます。

```

■ W01: R134a tank empty.
■ W09: R1234yf tank empty.
■ W03: Pressure is too high.
■ W10: Dry-filter service.
It Can flush/recovery 5 times
■ W11: Vacuum pump service
【ENTER】:HELP 【EXIT】:Exit

```

B、冷媒の種類（R134a / R1234yf）をします。デフォルトは最後の運転タイプです。

```

The last refrigerant type: R134a

The current refrigerant type

R134a
R1234yf

```

C、冷媒の種類が前回と異なる場合は、指示に従って操作してください。

System pipeline changing. . .
 Please block the HP and LP ports.
 Empty the used oil bottle.
[NEXT]

System pipeline changing. . .
 Need about a few minutes.
 Please wait.
[NEXT]

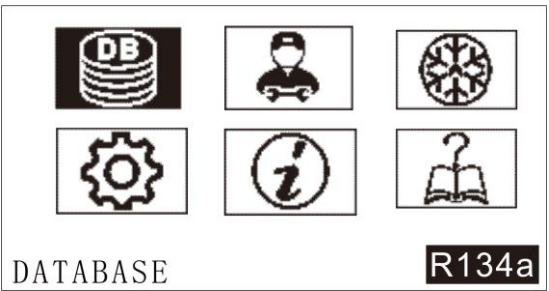
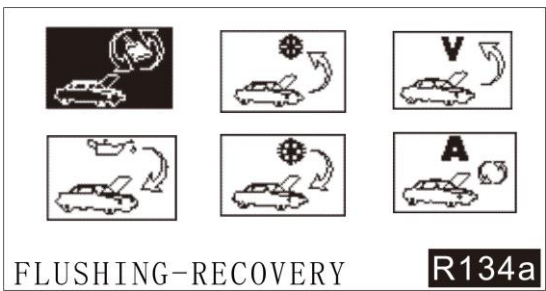
System pipeline changing. . .
 Refrigerant type conversion completed!
[NEXT]

プロセスが人為的に終了させられると、メイン・ファンクションに入ることができなくなり、最後のインターフェイスに戻ることができなくなります。

System pipeline changing. . .
 Refrigerant type conversion not completed!
[NEXT]

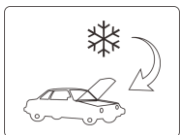

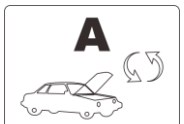

The last refrigerant type : R134a
 The current refrigerant type
R134a
 R1234yf

D、完了後、ファンクション・インターフェースを押します



説明:

	Flushing- Recovery This function include flushing and recovery process.		Database Check the amount of Refrigerant & oil
	Recovery Recovery the refrigerant of A/C system.		Equipment Maintanance Exchange dry-filter, Pipe-line cleaning, Calibration load cell.
	Vacuum Timing vacuum.		Supply Refrigerant Transfer the refrigerant into the equipment tank.
	New oil adding Fill the new oil into A/C system.		System function Supply,Parameter setting,Exchange filling tank,Change refrigerant type

	Recharging Recharge quantitative.		Equipment info System info, Servicer info, Equipment info.
	Auto. Mode Automatically all the process.		Help Descriptions of the alarming code.

3.5 フラッシング- リカバリー

A、この機能によって、コンプレッサーの性能を向上させるために冷媒を完全に交換するために、冷媒油とオイルスラッジをきれいにすることができます。

B、A/C システムのパイプラインを洗浄する前に、A/C システムの電源を入れ、5～10 分間運転してください。そして、最低温度と中風に設定してください。

C、カーエアコンを切ってください。警告: 洗浄中にエアコンを始動しないでください。そうしないと、エアコンを損傷しやすく、事故の危険性があります。

D、良好な洗浄性能を達成するために、洗浄時間は 20 分以上にしてください。一般: シングルエバポレーターの洗浄時間は 20 分、ダブルエバポレーターの洗浄時間は約 30 分です。洗浄時間が長ければ長いほど、洗浄効果は高くなります。

Note:

フラッシング時間には、回収処理の時間は含まれません。フラッシングが終了すると、マシンは自動的に回復機能を実行します。

E、操作:



E-1: フラッシング機能を選択し、ENTER キーを押します。

E-2: 洗浄時間を設定します

E-3: ENTER キーを押して開始します

F、作業中、正転、逆転、パルス洗浄を自動的に行い、洗浄で分離された使用済みオイルを古いオイルボトルに自動的に排出することができます。

G、洗浄後、自動的に冷媒を回収します。周囲温度や A/C システムの構造により、回収作業は 10～30 分間続きます。手動で作業を終了しないでください。

H、終了すると、それは自動的に停止します。そしてそれは分けられた使用されたオイルを再度排出し、そして自動的に締め、プロンプトを与えます

Notice:

作業中に電磁弁の動作音がするのは正常です。停止させないでください。使用済みのオイルは自動的に排出されます。

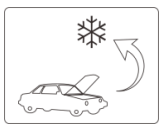
Warning:

突然の停電やフラッシング・リカバリープロセス中に誤って終了した場合は、フラッシング・リカバリー機能を再度選択してください。洗浄時間を短く設定し、再度実行することができます。他の機能を操作しないことが重要です。

3.6 リカバリー/リサイクル

A、この機能によって、A/C システムに残った冷媒を回収します

B、操作方法:



B-1: 回収機能を選択し、ENTER キーを押します。

B-2: ENTER キーを押して開始します。

B-3: 回収が終わると、自動的に使用済みオイルを排出します。

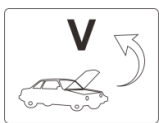
C、終了すると、分離された使用済み油を排出し、自動的に停止します

3.7 清掃

A、この機能により、A/C システムから水蒸気を除去します

B、15 分以上必要だ。一般的に、前面風のみエアコンの場合は 15 分以上、前面風と後面風の場合は 20 分以上必要です

C、操作方法:



C-1: バキューム機能を選択し、ENTER キーを押します。

C-2: バキューム時間を設定します。

C-3: ENTER キーを押してスタートします。

D、終了すると自動的に停止します

3.8 新しいオイルの追加

A、バキューム・プロセスの後に行ってください

B、新しいオイルを新しいボトルに入れる

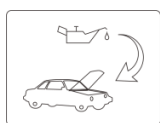
Note:

a) 新しいオイルを、エアコンの中に空気が入らないように、抜き取った使用済みオイルより 20ml 多く入れる。

b) 新しいオイルをオイルボトルに入れる。PAG オイルは PAG ボトルへ、POE オイルは POE ボトルへ。2 種類のオイルを混ぜて使用することはできません。車両の技術マニュアルまたはラベルを確認してください、間違ったタイプを追加しないでください!

c) 非真空状態が検出された場合、機能を実行することはできません。

C、操作方法:



C-1: New oil adding Function を選択し、ENTER キーを押します。

C-2: 油種を設定します。

C-3: 方法を選択: 手動制御を選択するか、または充填量を設定することができます。

FILL NEW OIL	R134a
Manual fill new oil	
Fill amount: 50 ml	

C-3.1 手動制御を選択した場合、ENTER キーを押し続けて射出を行いキーを離すと停止します。

FILL NEW OIL	R134a
Press the [Enter] key to fill new oil.	

C-3.2 充填量を設定した後、ENTER キーを押すと自動的に停止します。

FILL NEW OIL	R134a
Manual fill new oil	
Fill amount: 50 ml	

NEW OIL FILLING...	R134a
Please wait...	

3.9 再充電

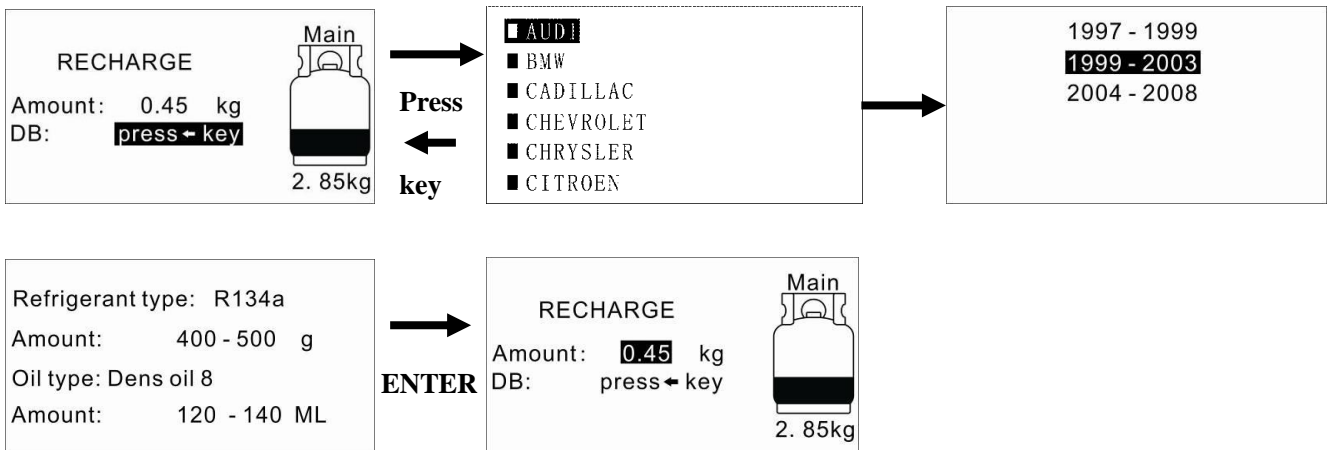


- A、充電機能を選択し、ENTER キーを押します。
- B、充電量を設定します。
- C、ENTER キーを押して開始します。
- D、終了すると自動的に停止します。

Note: 充電量の設定は以下の通りです

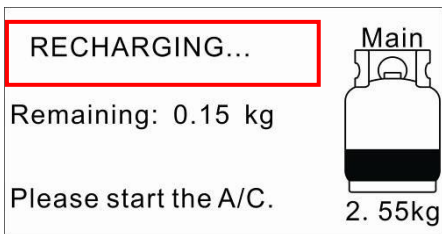
Method 1: 金額を直接設定します

Method 2: データベースで金額を設定する。手順は以下の通りです



Note:

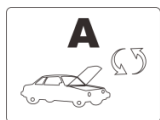
リチャージプロセスで、メニューが表示された場合は、リチャージプロセスを完了するためにカーエアコンをオンにする必要があることを意味します。その後、新しい冷媒をタンクに供給してください。



3.10 オートモード

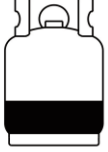
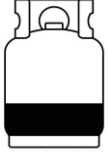
- A、このモードでは、パラメータを設定した後、すべての機能を自動的にフルに実行することができます。
- B、実行する前に、使用済みのオイルを完全に排出し、新しいボトルに十分な新しいオイルを注入する必要があります。オイルの種類に注意してください。

C、操作方法:



C-1: オートモード機能を選択します。モード機能を選択し、ENTER キーを押します。

C-2: 全てのパラメータをセットします

Flushing: YES	R134a	Flushing: NO	R134a
F. time: 40 Min		V. time: 20 Min	
V. time: 20 Min		Oil type: PAG	
Oil type: PAG		New oil: 50 ml	
New oil: 50 ml		Recharge: 0.60 Kg	
Recharge: 0.60 Kg		DB: press ← key	
DB: press ← key	3. 35Kg		2. 35Kg

or

C-3: ~~Press the ENTER key to start.~~ キーを押して開始します

~~D、When finished, it'll stop automatically.~~ D、終わると自動的に終了します

3.11 データベース



ここでは、冷媒の種類と充填量、冷媒油の種類と充填量を読み取ることができます。

3.12 機器のメンテナンス



- **Exchange dry-filter**
- Clean pipe of the unit
- Calibration
- Drain used oil
- Empty internal refrigerant
- Vacuum system pipeline

3.12.1 ドライフィルターの交換

A、ドライフィルターが寿命に達したら交換する必要があります

B、乾式フィルターを適時に交換しないと、回収、洗浄、供給機能が働かなくなります。

C、操作方法:

C-1: ドライフィルターの ID をラベルで確認してください。

C-2:交換ドライフィルター機能を選択し、ENTER キーを押してください。

C-3:ID を入力してください。

C-4:その後、情報に従ってステップバイステップを行ってください。

Note:

ドライフィルターの取り付け方向にご注意ください。

3.12.2 本体のパイプの清掃 t

A、この機能により、装置内部のオイルミストや微量な水分を効果的に除去し、システムをクリーンで無公害な状態に保つことができます。

B、3ヶ月などの使用期間終了後、この機能を実行する必要があります。

C、操作方法:

C-1: 電源を入れ、冷媒タイプを選択し、装置メンテナンスを選択します。

C-2: ユニットのクリーンパイプ機能を選択し、ENTER キーを押します。

C-3: ホースとカップラーを装置のカップリング側によく接続し、カップラーを開きます。

C-4: そして ENTER キーを押して実行します。

Note

この機能は冷媒の種類に応じて実行されます。

3.12.3 ロードセルの較正

A、ロードセルの精度が低い場合、校正が必要です。

B、この機能を使用する前にパスワード 1510 を入力する必要があります。

C、メインタンクロードセルの校正を行う場合、10~20kg のおもりを用意してください。オイルボトルロードセルの校正を行う場合、1~3kg のおもりを用意してください。

D、プロンプトに従ってステップバイステップで校正してください。

Note:

もしここにいくつかのプログラムがあれば、メッセージに従ってチェックしてください。

3.12.4 仕様済みオイルの排出

A、使用済みオイルの排出を手動で制御することができます。

B、使用済みオイルの排出機能を選択し、ENTER キーを押します。

C、ENTER キーを押し続けると排出され、キーを離すと停止します。

3.12.5 内部の冷媒を空にする

A、この機能により、装置内の冷媒を空にすることができます。

B、他の冷媒回収装置(例えば MM)を使用する必要があります。

C、操作:

- C-1: 装置の HP と LP ポートを MM の HP と LP ポートに接続します。
- C-2: 内部冷媒を空にする機能を選択し、ENTER キーを押してください。
- C-3: 配管が正しく接続されていることを確認し、ENTER キーを押してください。
- C-4: MM の回収機能を実行してください。
- C-5: 回収終了後、MM を停止し、電源を切ってください。
- C-6: しばらく待ちます。END と表示されたら、2 つの機器に接続されているパイプを外すことができます。
- C-7: 真空システムパイプライン機能を実行してください。

Note:

この機能は冷媒のタイプに応じて実行されます。

3.12.6 真空システムパイプライン

この機能により、装置の内部パイプラインを工場出荷状態まで完全に真空にすることができます。この機能を実行する前に、内部冷媒を空にする機能を実行する必要があります。

操作方法:

- C-1: 電源を入れ、冷媒の種類を選択し、装置メンテナンスを選択します。
- C-2: 真空システムパイプライン機能を選択し、ENTER キーを押します。
- C-3: ホースとカップラーを装置のカップリング側によく接続し、カップラーを開きます。
- C-4: そして、ENTER キーを押して実行します。

警告:

この機能は冷媒の種類に応じて実行されます。

3.12.7 真空ポンプオイルの交換

A、ポンプオイルがクリーム状になったとき、または機械がメンテナンスのメッセージを表示したときは、真空ポンプオイルを交換する必要があります。

B、ポンプオイルを交換しないと、真空ポンプが損傷しやすくなります。

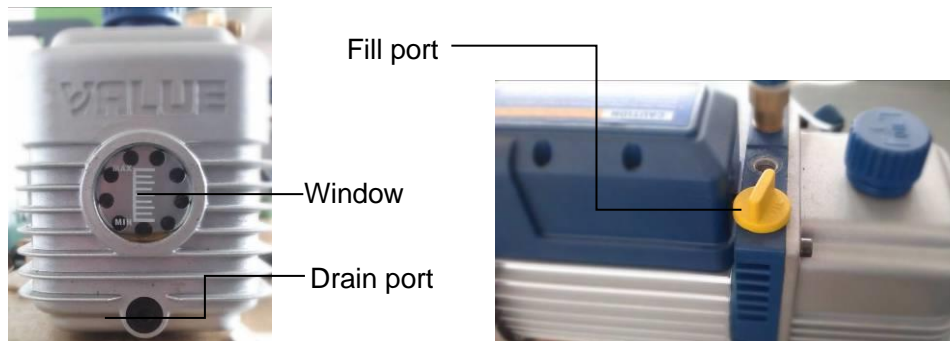
C、操作方法:

- C-1: バックダウンカバーを開けてください。
- C-2: ドレンポートのブロックを緩めて、古いオイルを完全に排出してください。その後、ブロックをドレンポートに戻す。

Note:

オイルドレンホールは窓と同じ側、または下側にあります。仕様に若干の違いがあります。

C-3: 注油口のキャップを緩め、新しいオイルをバキュームポンプにゆっくり注油してください。その後、キャップを注入口に戻す。

**Note:**

新しいバキュームポンプオイルは、バキュームポンプに入れすぎではいけない。

C-4: カバーをかけ直します

3.12.8 非凝縮性ガスの排出

- A、何らかの不可抗力により、時間が経つとタンク内に非凝縮性ガスが蓄積されます。
 B、非凝縮性ガスは定期的に排出する必要があり、1ヶ月に1回排出することをお勧めします（使用頻度が低い場合、排出サイクルを延長することができます）。或いは、高圧警報が出た場合は、直ちに排気が必要です。

C、操作方法:

C-1: リア冷媒タンクを取り外し、脇に置きます。

注意:

パイプは取り外さないでください

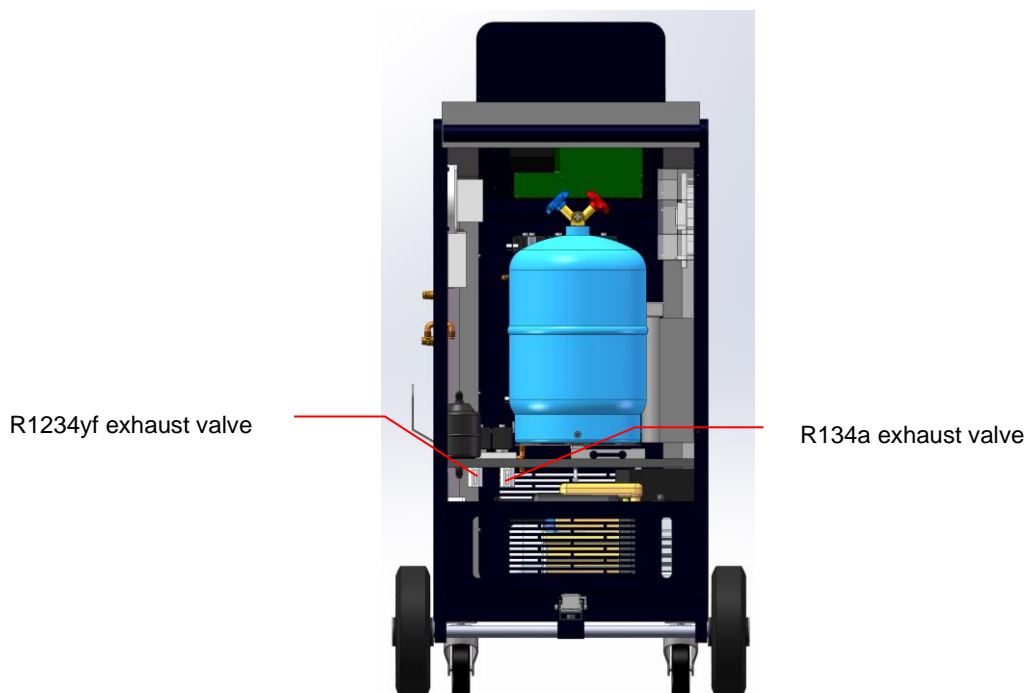
C-2: バックドアを開けると、マシンの左中央に2つの排気バルブがあります。
 バルブをゆっくり開いて、凝縮しないガスを排出します

警告:

バルブハンドルをゆっくりと回転させ、排気音が聞こえたら回転を止め、排気を静止させます

Left valve -R1234yf tank exhaust

Right valve - R134a tank exhaust



C-2: 排気時間は約 20 秒。警告: 排気の際は電源を切り、換気の良い環境で行う必要があり、火器は禁止です。

3.13 供給タンク

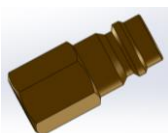
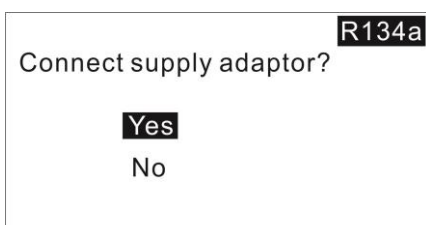


A、メインタンク内の冷媒量が 3kg 未満であれば、フラッシング機能はそれ以上実行できず、1kg 未満であれば、マシンに十分な冷媒を供給するまで、リチャージ機能もそれ以上実行できない。

B、操作方法:

B-1: 電源を入れ、冷媒タイプを選択し、次に Supply Tank 機能を選択します。

B-2: 供給コネクタを使用するかどうかを選択します:



B-3.1: 供給コネクタを使用する場合、配管の接続は次のようになります: 新冷媒タンクのポートに供給コネクタを取り付けます。

Note:

新冷媒タンクの液口に接続してください。液口がない場合は、新冷媒タンクを逆さまにしてください。HP カプラーを供給コネクタに接続し、オープンにする。

B-3.2: 供給コネクタを使用しない場合、配管接続は以下の通りです： 新冷媒タンクのポートを装置の LP ポートに接続する。

Note:

新冷媒タンクの液口に接続してください。液口がない場合は、新冷媒タンクを逆さまにしてください。

B-4: 新冷媒タンクのバルブを開ける。

B-5: 供給量を設定し、ENTER キーを押して実行する。

注) 供給量：タンク残量に応じて設定。

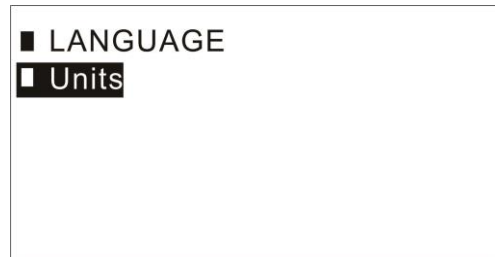
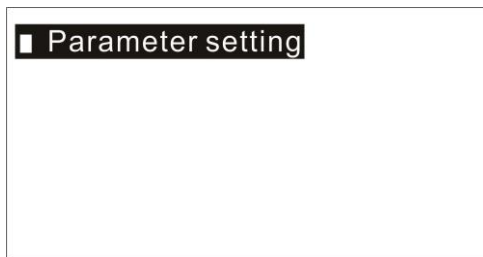
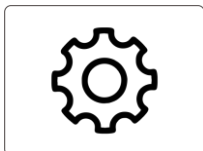
目安：供給量 = (4.5~5) - 残量。

B-6: アラームが鳴ったら、新冷媒タンクのバルブを閉じて直立させ、ENTER キーで確定してください。

B-7: パイプライン内の冷媒が回収された後、装置は自動的に停止します。その後、クイックカップリングを取り付けます。

特別な宣言: 冷媒が新しい装置に供給されるとき、装置システムの真空の状態のために、冷媒をタンクに供給するとき配管および部品に残ります、その結果、回収される冷媒の実際の量は正常な装置によって示されるより多くなります。

3.14 各種システム

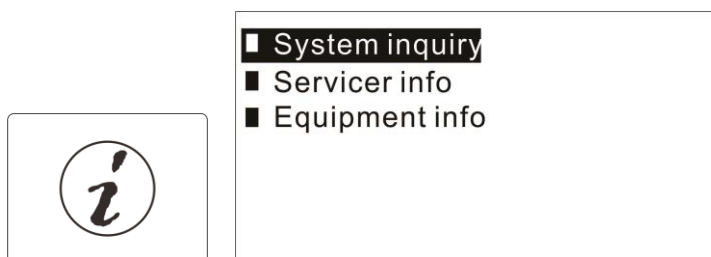


3.14.1 言語

言語を変換します

3.14.2 単位の返還

3.15. 装備情報



3.15.1 System inquiry

ここでマシンの動作状況を確認できます。

Running status		
Compressor:	10	h
V-pump total:	20	h
V-pump cycle:	10	h
Dry-filter:	10	kg
Machine total:	26	times

3.15.2 サービサー情報

ここでは販売店の情報を設定・確認することができます。

Servicer:
 Phone:
 Dealer:
 Phone:

The way for setting:

Press \leftarrow and \rightarrow keys at same time into the setup state.

Use the \leftarrow and \rightarrow keys to select position

Use the \uparrow and \downarrow keys to set the content.

3.15.3 装備情報

ここでは、SN、ハードウェアのバージョン、ソフトウェアのバージョンなどを確認できます。.

SN:	842501000001
Software version:	V3.0.0/V3.0
Hardware version:	V1.2
DATABASE:	V1.0
MFD:	2019-11 -13

3.16 ヘルプ



ここですべてのヘルプメッセージを確認できます

Warranty terms

本保証は、Thinkcar 製品を通常の業務を通じて購入されたお客様および販売店にのみ適用されます。Thinkcar Inc.は、納入日から 1 年間、材料または製造上の欠陥に起因する損傷について、その電子製品を保証します。誤用、無許可の改造、製品が設計された目的以外での使用、または取扱説明書で指定された方法で動作しなかったことに起因する本機器または部品の損傷は、本保証の対象外となります。本装置の欠陥に起因する自動車用ゲージの損傷は、修理または交換のみに限定され、Thinkcar は結果的または偶発的な損害に対して責任を負いません。Thinkcar は、装置に対する損傷の性質を、Thinkcar が規定する検査方法に従って判断します。Thinkcar の代理店、従業員、または商業上の代表者は、Thinkcar 製品に関していかなる確認、推奨、または約束も行う権限を有しません。Thinkcar の代理店、従業員、商業上の代表者は、Thinkcar 製品に関していかなる確認、表明、約束も行う権限はありません。

Waiver of Declaration

上記の保証は、他のいかなる形式の保証にも代えることができます。

Order Notification

交換部品およびオプション・アクセサリは、Thinkcar 正規販売店に直接ご注文いただけますので、数量、部品番号、部品名をお知らせください。

Customer service center

修理が必要な場合は、保証書、製品証明書、お買い上げ明細書、不具合の内容をご記入の上、Thinkcar 社までお送りください。機器の修理が必要な場合は、保証書、製品証明書、購入時の請求書、不具合の内容を明記の上、Thinkcar までお送りください。保証期間内であれば、Thinkcarは無償で修理いたします。保証期間外の場合は、Thinkcarは修理費用を請求し、返送料を加算させていただきます。

Thinkcar Company Address:

〒410-1118 静岡県裾野市佐野 8 4 - 4 電話：0559-41-5123

website: <https://tcjltd.com/>

Statement:

Thinkcar は予告なしに製品のデザインや仕様を変更する権利を有します。実際の製品の外観や色は、取扱説明書に記載されているものと異なる場合がありますので、実際の製品をご参照ください。本書に記載されている内容はすべて正確を期しておりますが、不正確な記述もございますので、ご不明な点がございましたら、販売店または Thinkcar アフターサービスセンターまでお問い合わせください。